

学校評価 まとめと今後に向けて

今年度は、2回の学校評価アンケート(調査)にご協力いただきまして、ありがとうございました。

1回目の調査の後、気になる項目などを中心に教職員で話し合い、重点的に取り組むことなどを決めて2学期の取り組みを進めました。その結果、少し成果が出た項目もあります。一方で、依然として評価が低く、取り組みの見直しの必要性を感じるところもあります。

2月下旬に開催しました「第3回 家庭・地域・学校 協議会」で頂戴しましたご意見、2月・3月に教職員の話し合いで出た意見等を、下にお示します。来年度の取り組みに生かしていきたいと考えています。

<安全面の指導>

○学校で行っている安全面の指導について、保護者の方々にお知らせする機会・方法を工夫する。

○交通安全については、西藤島地区では過去に小学生の死亡事故も発生しているので、PTA 補導部の方々を中心に開催してくださっている「交通安全教室」を継続していただくことを願います。

その上で、外部講師による交通安全に関するお話を聞く会なども設定し、児童の安全に関する意識の向上を図り、安全に気をつけて生活するようにしていく。

<気持ちのよいあいさつ>

○授業では、道徳・学活等で考えさせる場をもったり指導したりしている。

○委員会活動では、子どもたち中心に「あいさつマスター」などの取り組みを進め、一定の効果は出てきている。今後も継続していきたい。

○教職員をはじめ、私たち大人が手本を示していくことが大切。コミュニケーションの第一歩目としてのあいさつの大切さを子どもに教えながら、学校・家庭・地域が連携した取り組みを進めていきたい。

<苦手なこと、失敗したことにもあきらめずに取り組む>

○失敗したらどうしよう、苦手だからやりたくない・・・という子どもたちの姿が見える。

=自分に自信がない子どもたち

- 学校では、教職員が、子どもたち一人一人の変容をよく見て、励ましたり認めたりする言葉かけをしている。
小さな成長も、本人が気づくように、そして自分の成長や頑張りを自分で認めて自己肯定感を上げていけるように、今後も取り組んでいく。自己肯定感が上がることによって、次へのチャレンジする気持ちやレジリエンスが育つように支援していきたい。
- 子どもたちが、自分の目標やめあてを立てただけにせず、何度もそこに立ち戻り、振り返りをしながら、自分の成長に気づくようにしていきたい。

<自分から進んで>

- 子どもに任せる場面をもっと増やしていくとよい。
- 子どもの頑張りを価値付けしていくとよい。
- 学校で子どもたちが進んで取り組んでいる様子を、HP などでもっと紹介していくとよい。
- タブレットの持ち帰りを進め、タブレットを有効に使いながら進んで家庭学習（宿題等）に取り組む様子も見られたが、今後も家庭学習に進んで取り組めるような手立てを考えていくとよい。

<授業がよく分かる>

- 学びの足跡を残し、いつでも学習したことを振り返ることができるようにしたい。
- 振り返りの時間・場・内容等を充実させていきたい。

<将来に向けての夢や希望>

- 将来に向けての夢や目標について考える（意識させる）必要性を感じる。
- なりたい自分の姿を表現する機会を設けていきたい。
- 学期ごとに立てる目標などの達成状況を、振り返られるようにしていくとよい。
- 当番や係活動、委員会活動などは、将来自分が生きていくために必要な力をつけるために行っているものでもある＝将来の自分につながっている という意識を子どもたちにもたせる必要がある。

<道徳の時間>

- 保護者への発信・公開を進めていきたい。
- 保護者に道徳ノート（ファイル）を見てもらう機会をつくるようにしたい。
- 道徳の授業づくりに力を入れていきたい。

<ふるさと福井>

○R6 に完成した「西藤島カルタ」を小学校にも寄贈するので、利用しながら地区への興味・関心を高めるとよい。

○生活科・社会科・総合的な学習を中心に、これまでより地域に出かける、地域について考える時間を増やしていくとよい。

<教育方針・教育内容の周知>

○学校教育方針（スクールプラン）は、HP で閲覧可能になっている。

○学年だよりに子どもたちの活動している様子（写真）などを入れて伝えるとよい。

○学年だよりに当該月の学習内容（タイトル等）を入れるとよい。

○HP でブログを利用して子どもたちの様子を伝えることもできるのではないかな。